



みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和4年8月23日No.10

文:岡本勇人



三朝町立三朝中学校 学校だより

31日間の夏休みを終え、昨日は、2学期の始業式でした。8:15 いつも通りの朝読書の学年・いきなりの課題点検の学年など、それぞれ実態に応じたスタートでした。

学年集会や休み明けテストに取り組み、久しぶりの給食は、「三朝トマトのハヤシライス」です。地産地消でもあり、とても美味しくいただきました。

さて、始業式では、以下とお話ししました。参考まで。

みなさん、おはようございます。31日間の夏休みが終わり、今日から2学期です。体調はどうですか。気持ちは充実していますか。

さて、ニュース等で報道されているとおり、現在、新型コロナウイルス感染症の第7波の最中です。この感染拡大は危機的状況です。予防対策には常に緊張感をもって取り組んでいきましょう。

さて、今日は、“経験値を上げる”という話をします。ゲームの中でもよく意識する、あの"経験値"です。

生徒のみなさんには、日々健康であって欲しいと願うとともに、何が起るかわからない今の社会を生き抜くために、色々なことを学び、挑戦と失敗、成功を繰り返し、自身の経験値を上げて欲しいと常々考えています。この“経験値を上げる”ということについて、よく「何事も経験です」と言います。

みなさんに経験値を上げて欲しいという言葉に嘘はないのですが、この歳になると、なんでも経験すればいいというものではないなど、感じることもあります。それは、家族や知り合いの不幸、あるいはそうした人たちとの人間関係の悪化、その他にも、自分の不調や病気、事故などです。この夏も、豪雨災害やコロナ感染拡大がありました。

そんな場面に出会っている人に、「何事も経験です」とは声をかけられません。人の一生で、誰が考えても経験せずに済んだ方がよいことは、山ほどあると感じています。

一方で、本人が望まないのに、そうしたことを経験せざるをえなくなった人が、多くいます。

私自身も、あれはしなくてもいい経験だったなと感じることが幾つかあります。思い出すとつらいです。それを乗り越えて今があるのだと、それも今無理やり考えようとしているだけで、決してその時は、ためになる経験ができて良かったとは感じることはないです。もし同じ境遇の人がいれば、経験していない人よりかは、その人に寄り添って理解できるということぐらいでしょうか。

生徒のみなさんに、もし自分が今そういう経験の真ただ中にいると感じている人がいれば、勇気を出して誰かに話してください。話しても無駄と考えずに、せめて異なる3人と話すまでは絶対に諦めないでください。その3人の中に、本校の先生方がいれば、必ずあなたの話を聞いてくれるはずで。1人で考えることには限界があることを知っておいてください。どうかよろしく願います。

このことを新学期にあたって、みなさんへの言葉とします。



学年集会



休み明けテスト